

## 第78回

# 全日本学生体操競技選手権大会

## 要 項

主催	全日本学生体操連盟	
主管	東北・北海道学生体操連盟	関東学生体操連盟
	東海・北信越学生体操連盟	関西学生体操連盟
	九州学生体操連盟	
後援	(未定)	
協賛	(未定)	

### 1. 日程 (予定)

- 令和6年 8月22日(木)会場セッティング・2部校監督会議  
2部校本会場練習  
23日(金)2部校本会場練習・1部校本会場練習  
審判会議・開始式・2部校選手権(個人・種目別)  
1部校監督会議、1部校本会場練習  
24日(土)2部校選手権(団体・個人・種目別)・(2部校表彰式)  
1部校選手権(個人・種目別)・1部校本会場練習  
25日(日)1部校本会場練習・1部校選手権(団体・個人・種目別)  
26日(月)1部校選手権(団体・個人・種目別)・カッティング・閉会式

### 2. 会場

会 場 西原商会アリーナ (鹿児島アリーナ)  
所 在 地 〒890-0023  
鹿児島県鹿児島市永吉1-30-1  
電話番号 099-285-2244

### 3. 参加資格

- (1) (公財)日本体操協会の会員登録システムから、各大学の所在地の都道府県体操協会に令和6年度「所属団体・選手登録」を済ませ、その後、全日本学生体操連盟に「所属団体・選手加盟(連盟登録)」を済ませた者。
- (2) 全日本学生体操連盟への「選手加盟(連盟登録)」が4回以下で、全日本学生体操連盟に所属する大学(短期大学、専修学校、高等専門学校を含む)の者。
- (3) 令和6年度の1部校で東日本・西日本学生体操競技選手権大会に出場した大学。

※以下、学生体操競技選手権大会は「インカレ」と記す。

なお、個人の出場枠は、令和5年度の全日本インカレ団体総合選手権の成績により決定する（以下、チーム出場大学に割り当てられた個人枠での出場選手を「チーム個人選手」と記す）。

<男子>

・チーム 12校

令和5年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より

・チーム個人選手 42名  
1～3位校 各5名  
4～6位校 各4名  
7～9位校 各3名  
10～12位校 各2名

<女子>

・チーム 10校

・チーム個人選手 30名  
1～3位校 各4名  
4～7位校 各3名  
8～10位校 各2名

<該当校及び参加人数>

・1部校男子チーム 12校（令和6年度の東・西インカレの出場を要する）  
・1部校男子個人 42名（令和5年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より）  
1. 順天堂大学 5名      7. 仙台大学 3名  
2. 日本体育大学 5名      8. 早稲田大学 3名  
3. 鹿屋体育大学 5名      9. 大阪体育大学 3名  
4. 筑波大学 4名      10. 福岡大学 2名  
5. 駒澤大学 4名      11. 東海大学 2名  
6. 日本大学 4名      12. 明治大学 2名（1部昇格校）

・1部校女子チーム 10校（令和6年度の東・西インカレの出場を要する）  
・1部校女子個人 30名（令和5年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より）  
1. 日本体育大学 4名      6. 駒澤大学 3名  
2. 順天堂大学 4名      7. 大阪体育大学 3名  
3. 筑波大学 4名      8. 日本女子体育大学 2名  
4. 国士館大学 3名      9. 仙台大学 2名  
5. 武庫川女子大学 3名      10. 東京女子体育大学 2名

(4) 令和6年度の2部校で東・西インカレにおいて出場資格を得たチーム及び個人。  
(以下、東・西インカレにおいて個人で出場資格を得た選手を「予選通過個人選手」と記す。)

<男子>

・チーム 12校（令和6年度の東・西インカレ団体総合選手権上位各6校）

・チーム個人選手 18名（令和6年度の東・西インカレ団体総合選手権の成績より）

1～3位校 各2名      4～6位校 各1名

- ・予選通過個人選手① 2名（本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手の令和6年度の東・西インカレ個人総合得点を比較し、その上位2名）
- ・予選通過個人選手② 22名（本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手から上記予選通過個人選手①を除いた、令和6年度の東・西インカレ個人総合選手権上位各11名）

#### <女子>

- ・チーム 10校（令和6年度の東・西インカレ団体総合選手権上位各4校）  
（上記8校を除く、令和6年度の東・西インカレ団体総合得点を比較し、その上位2校）
  - ・チーム個人選手 12名（令和6年度の東・西インカレ団体総合選手権の成績より）  
1・2位校 各2名 3・4位校 各1名  
得点比較2校 0名
  - ・予選通過個人選手① 2名（本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手の令和6年度の東・西インカレ個人総合得点を比較し、その上位2名）
  - ・予選通過個人選手② 16名（本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手から上記予選通過個人選手①を除いた、令和6年度の東・西インカレ個人総合選手権上位各8名）
- ※ チーム通過校が規定数より少なかった場合、1チームにつき予選通過個人選手(女子においては予選通過個人選手②)を5名（5枠）増やすこととする。
- ※ 本大会チーム出場大学より、上記チーム個人選手枠の返上があった場合、予選通過個人選手①の枠を増やすこととする。チーム個人選手枠の返上は、東・西インカレにおける全日本インカレ通過者会議までとする。
- ※ 同じ大学に所属する6名の選手が予選通過個人選手となった場合、当該選手所属大学の本大会へのチーム出場を認める。但し、これによる予選通過個人選手の繰り上げはしない。なお、これを適応する選手は東・西インカレチーム出場選手に限る。
- ※ 東・西インカレにおける通過者会議で決定した予選通過個人選手から大会申し込み一次締め切りまでに棄権の申し出があった場合、東・西インカレそれぞれにおける次点の選手を順次繰り上げることとする。

(5) チーム個人選手については、各大学へ割り当てられた人数内であれば、各種目の演技者を大学が任意に決定してよい。ただし、各大学への割り当て人数に3名を加えた人数が出場登録者数の上限となる。

また、全種目出場しない選手は、種目別選手権のみの参加とする。

例) チーム個人選手の枠が2名の場合、出場選手5名の登録、各種目2名の演技実施が可能。この場合、5名分の個人参加費が必要となる。

#### 4. 種目別選手権 決勝 について

本大会では実施しない。

#### 5. 補欠について

- (1) 各チームの補欠人数は定めず、補欠登録も行わない(7.(2)(3)(4))。なお、補欠として大会期間中に会場に入場できる者(IDが配布される者)は、各チーム2名までとする。
- (2) 2部校の予選通過個人選手についての補欠は認めない。

## 6. 選手変更・棄権について

- (1) 選手変更・棄権の申請は、監督会議開始までに所定の用紙(メンバーチェンジ・プログラム訂正用紙)で受付に提出すること。ただし、監督会議後に特別な理由で出場不能となった場合、大会本部への申請により変更を認める場合がある。
- (2) チーム出場選手、および、チーム個人選手の変更は、全日本学生体操連盟に加盟した選手であれば認める。
- (3) 競技部報・プログラムに掲載される出場選手は、ID申請用紙に記載された選手名のみとなる。
- (4) 選手のゼッケンについては、チーム6人分の枠、および、チーム個人選手枠のゼッケン番号とし、変更した選手はその枠に与えられたゼッケン番号をつけるものとする。

## 7. 競技方法について

- (1) 適用規則
  - ・ FIG 競技規則に準ずる。

<男子>  
2022年版採点規則、最新版内規及び体操競技情報最新号を適用する。

<女子>  
2022年版採点規則、及び体操競技情報最新号を適用する。
- (2) チーム編成について
  - ・ チーム編成は各大学単位とし、各校1チームとする。
  - ・ 1・2部校男女とも、1チームは最大6名(最小5名)とする。
- (3) 順位の決定
  - ・ 団体総合選手権：各種目上位5名の得点の総合点で競う。
  - ・ 個人総合選手権：全種目の総合点で競う。
  - ・ 種目別選手権：各種目の得点で競う。男女ともに跳馬は1試技の得点とする。
  - ※ 0点は棄権ではなく得点として扱う。
  - ※ 新技申請については、8月22日(木)18時までに所定の用紙にて受付に提出すること。ただし、選手変更による新技申請の場合は、監督会議開始までに受付に提出すること。
- (4) 班編成および開始種目
  - ・ 1部校：班編成は令和5年度の全日本インカレ団体総合選手権の成績により決定する。  
団体総合選手権の開始種目については、大会本部で抽選を行う。
  - ・ 2部校：東・西インカレの成績(順位、得点)により決定する。
- (5) 器具について
  - 男女共、(公財)日本体操協会認定器具を使用する(詳細は競技部報に記載する)。

## 8. 表彰

< 1 部校 >

- |               |   |
|---------------|---|
| (1) 団体総合選手権の部 | 男子優勝校・・・高松宮殿下記念杯<br>女子優勝校・・・高松宮妃記念杯<br>優勝旗、優勝杯、メダル1～3位、賞状1～8位 |
| (2) 個人総合選手権の部 | メダル1～3位、賞状1～8位  |
| (3) 種目別選手権の部  | メダル1～3位、賞状1～8位  |

< 2 部校 >

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| (1) 団体総合選手権の部 | 優勝杯、メダル1～3位、賞状1～8位 |
| (2) 個人総合選手権の部 | メダル1～3位、賞状1～8位     |
| (3) 種目別選手権の部  | メダル1～3位、賞状1～8位     |

※ 1・2部校とも、同点は同順位として表彰する。

## 9. 帯同審判員派遣について (検討中)

- (1) 本大会にチーム参加する大学は1種審判資格を有する下記の帯同審判員を派遣しなければならない。帯同審判員はそれぞれ、1部校・兼2部校の審判業務を行う。

< 男子 > (24名)

1部チーム出場校(12校)・・・1名

2部チーム出場校(12校)・・・1名

(可能な限り、カテゴリー2以上の審判員の派遣をお願い致します。)

< 女子 > (16名)

1部チーム出場校(10校)・・・1名

2部チーム出場校(今年度東西インカレ団体総合選手権上位各3校)・・・1名

2部チーム出場校(上記以外の4校)・・・0名

- (2) 帯同審判員に対する費用は、派遣する大学が全て負担しなければならない。
- (3) 学生を帯同審判員として派遣することもできる。
- (4) 審判員を派遣できない大学は、審判依頼費として60,000円をもって大会本部に依頼すること。また、派遣人数が割り当てられていない大学(女子2部下位4校)は、審判依頼費として40,000円をもって大会本部に依頼すること。
- (5) (公財)日本体操協会委員を派遣する大学は、予め本部の承認を得なければならない。
- (6) 各大学指導者(部長、監督、コーチ)を帯同審判員として派遣する場合は、「審判員・指導者兼任願い」を大会申し込み1次締め切りの書類と合わせて提出しなければならない。審判員となる指導者は、審判会議以降の大会期間中は所属選手の練習を指導することはできない。
- (7) 審判構成は、その全てを大会本部に一任すること。

## 10. 補助役員について(1部校と2部校の補助役員は分ける) (検討中)

- (1) 本大会に参加する1部校、2部校団体出場校は2名の補助役員を派遣しなければならない

い。なお、その補助役員に対する費用は全てその大学が負担しなければならない。

(2) 補助役員を派遣できない大学は、1名につき15,000円をもって大会本部に依頼すること。

(3) 派遣された補助役員は、それぞれ部別の競技運営に必要な業務を担当する。

※詳細な日程については、後日連絡する。

(4) 本部への補助役員変更の連絡は、8月15日(木)までとする。ただし、監督会議後に特別な理由で派遣不能となった場合、大会本部への申請により変更を認める場合がある。

### 11. 部別昇降について

男女とも、1部校最下位1校が降格し、2部最上位1校が昇格する。

さらに2部男女2位校の団体総合得点が1部男子11位校・女子9位校の得点を上回った場合、これを入れ替える。

### 12. その他

(1) 競技区域に入れる者は全ての競技において、大会役員、審判員、補助役員、選手、補欠、チームリーダー、コーチ(1組につき、個人4名以上は2名まで、3名以下は1名)、部長、監督、主務に限る。ただし補欠は監督会議以降アリーナ内には入ることは出来ない。また部長、監督、主務は競技中の競技区域(部報参照)に入ることは出来ない。なお、音楽係のID保持者は音楽席のみで活動出来る。

また、段違い平行棒コーチ(女子)はチームに1名、個人出場選手には大学ごとに1名とする。

※ID保持者であってもみだりに競技区域に立ち入ることを禁止する。

(2) トレーナー申請を希望する大学はID申請書にあるトレーナーの欄に記入をし、本大会申し込み最終締め切り日までに提出すること。なお、トレーナーは指定の場所のみで活動すること。

※トレーナーの申請人数は男女とも各1名とする。

(3) 音楽の再生機器は各大学で準備すること。

(4) セッティングは2部校、カッティングは1部校の全員参加とする。1日目の2部校本会場練習は、セッティングに参加した2部校の大学のみ出来るものとする。セッティング・カッティングに参加できない場合は所定の用紙に理由を書いて提出し、許可を得ること。

(5) 会場の冷暖房については気温状況に応じて使用することとする。なお、使用する場合には監督会議で報告し、実費を徴収することがある。

(6) 大会中の演技の撮影には、事前の撮影申請を必要とする。申請の方法については、別途連絡する。

(7) 全日本インカレのプログラム広告確保について、要項末の記載を確認後、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

### 13. 参加申し込みについて

(1) 参加費

1チーム

84,000円

個人(1名につき)

14,000円

帯同審判員依頼費（1名につき） 60,000円

補助役員依頼費（1名につき） 15,000円

※「保険料・救護費」については、参加費に含める。

(2) HP上にある下記の用紙に必要事項を記入の上、大会本部にメールにて申し込むこと。

- ・参加申込用紙
- ・ID申請用紙
- ・プログラム用コメント用紙

(3) 締め切り期日

1次締め切り

(参加申込用紙、プログラム用コメント用紙)

..... 7月4日(木) 18時必着

最終締め切り

(ID申請用紙)..... 7月11日(木) 18時必着

HP 部報掲載予定日..... 7月25日(木)

期日を過ぎたものは一切受け付けない。

(4) 参加費は、本部所定の銀行へ1次締め切りまでに必ず、大学名(男女別)で振り込むこと。

振込例：女子→ジョガクレンダイガク 男子→ダンガクレンダイガク

(5) 参加費振込先

三井住友銀行 渋谷支店 店番号654

普通口座番号 9167060

全日本学生体操競技選手権大会

担当者：小澤 梓乃

(6) 締め切り期日以降の申し込みは受け付けない。締め切り期日以降の欠場は認めるが原則として参加費は返金しない。

(7) 申し込み・問い合わせ先

〒160-0013

東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 8階 (公財) 日本体操協会気付

全日本学生体操連盟 第78回体操競技全日本インカレ大会宛

FAX 03-6455-4038

E-mail [gym-gakuren@cm.jpn-gym.or.jp](mailto:gym-gakuren@cm.jpn-gym.or.jp)

HP <http://gymgakurenn.noor.jp>

担当者 (男子) 石垣 星 (女子) 金澤 涼

## 【同点順位について】

### ①表彰について

団体総合選手権 個人総合選手権 種目別選手権	同点と同順位として表彰する。
------------------------------	----------------

### ②通過及び部別昇降に関する順位付けについて

団 体 選 手 権	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全種目（男子6種目、女子4種目）のチーム得点の中で、最低点の種目得点を除いた残りの種目（男子5種目、女子3種目）の得点の合計が高いチーム。</li> <li>・ それでも同点の場合は2種目の最低得点を除く残りの合計の高いチーム。（さらに同点の際は、男子5種目、女子3種目まで最低点を除き、残りの種目の合計の高いチーム）</li> <li>・ すべての種目の得点と同点の場合は、前年度の競技成績の高いチームを上位とする。</li> </ul>
個 人 総 合 選 手 権	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団体と同じ方法を用いて、残りの種目合計の高い者。</li> <li>・ すべての種目の得点と同点の場合は、Eスコアの合計点の高い者。それでも同点の場合はDスコアの合計点の高い者。</li> </ul>
種 目 別 選 手 権	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Eスコアの高い者。</li> <li>・ それでも同点の場合は個人総合順位の高い者。</li> </ul>

※この方法は、学生連盟が主催とする大会のみ適用とする。

## 【全日本インカレのプログラム広告確保について（お願い）】

例年、大会プログラムに掲載する広告を各社にお願いしておりますが、広告・協賛が十分確保できない状況になっております。また、全日本インカレを開催するにあたり、当連盟における財政状況では、対応困難な面があることは否めません。

つきましては、各大学に大会参加料などの面でこれ以上ご負担をお掛けしないためにも、広告掲載社（団体・個人）のご推薦・確保にご協力いただきたくお願い申し上げます。ご紹介いただける場合は、後日、HP掲載の「申込・振込方法」をご確認の上、ご対応お願いいたします。

学生体操競技ならびに新体操界の発展・普及のためにも、何卒ご協力賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

### 記

1. 大会名 第78回全日本学生体操競技選手権大会  
第76回全日本学生新体操選手権大会
1. 期 日 <体操競技> 令和6年8月22日（木）～8月26日（月）  
<新体操> 令和6年8月27日（火）～8月30日（金）
1. 会 場 <体操競技><新体操> 鹿児島県 鹿児島アリーナ
1. プログラムのページ数 <体操競技> A4版 左とじ約60ページ  
<新体操> A4版 左とじ約50ページ
1. プログラムの発行部数 <体操競技> 約500部 <新体操> 約400部
1. 広告掲載料 (白黒) 全面 ￥20,000  
1/2 ￥10,000  
1/4 ￥5,000  
(カラー) 全面 ￥30,000  
1/2 ￥20,000  
1/4 ￥15,000
1. 版下（広告掲載原稿）
  - ・文書
  - ・図案化されたもの
  - ・写真（著作権に違反しないもの）
  - ・ロゴマーク
  - ・絵文字
  - ・その他

#### ※広告掲載社等の例

- ・大学が提携しているスポーツ店
- ・貴クラブが日常的に利用している会社
- ・選手が通院している接骨院やマッサージ院
- ・地元や出身クラブ
- ・各大学の広報課（出場大学の広告掲載の場合） 等

以 上